

R4 開始

おおなんちょう

邑南町（島根県）

～主な品目～

水稻

実施体制

【邑南町環境保全型農業推進検討会議】

邑南町、島根大学、島根県農林水産振興センター邑智農業部
 邑南町農業委員会、JAしまね島根おおち地区本部、島根県農業共済組合
 邑南町教育委員会、農業関係者、消費関係者

面積情報

有機農業取組面積：8ha 耕地面積に占める割合：0.4 %

（令和3年度末時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（水稻）	R3年度	8.1ha	→	R9年度	20 ha
有機農業の取組面積の拡大（野菜）	R3年度	0 ha	→	R9年度	2 ha
有機農産物の販売数量の拡大（水稻）	R3年度	24t	→	R9年度	60 t
有機農業に取り組む農業者数の増加	R3年度	5人	→	R9年度	10人
学校給食有機米利用	R3年度	0回	→	R9年度	年間12回

2 有機農業を拡大していく上での課題

- ①有機農産物の生産・流通（販路拡大）
- ②生産技術の普及（生産者の増加）

拡大をはばむ雑草の紹介

・コナギ（5月～8月）

【対策】

生産者毎の独自の方法により対策（紙マルチ、ブラシ式除草機、田車など）

3 課題に対する取組のポイント・成果

- ①－1：学校給食の有機米利用（R4年は月に1回有機米利用、R5は3カ月に1度、4日連続で有機米を利用。）
- ①－2：有機米取扱業者との意見交換
- ②－1：島根大学との共同研究による有機栽培マニュアル作成に向けた取組
- ②－2：有機農業の研修会の実施

【取組による定量的な成果】

学校給食有機米利用 R3：0回 → R5：12回

ポイントとなる技術

◎水稻栽培における除草・抑草技術

- ・除草機を用いた除草
適期に除草を行えば確実な除草効果が見込まれる。
- ・紙マルチを用いた抑草
除草作業の省力化が見込まれる。
- ・アイガモを用いた除草・抑草
アイガモの放飼により、除草や抑草の効果が見込まれる。



▲紙マルチ栽培の様子

4 主な取組内容

①生産

- ・栽培マニュアルの策定に向けた調査
- ・新たに有機農業に取り組む農業者向け研修会

②加工・流通

- ・流通業者との意見交換会を開催し、有機米の販路拡大について調整等を実施

③消費

- ・有機農業の理解促進のため、学校給食で有機米を活用した
- ・消費者へ向けて食の安心、安全などについての研修会を実施
- ・先進地の視察（千葉県いすみ市）への視察を実施
- ・生産者、消費者に向けた有機農産物のアンケートを実施

▲消費者向け研修会
（R5. 11. 26）